



富士見市市民人材バンク推進員の会

問い合わせ 富士見市教育委員会生涯学習課
電話 049-252-7138

2022年 No.65

コミュニティ大学クラブ活動

絵を通してより豊かな時間を過ごすお手伝いを…



このたび、ご縁あってコミュニティ大学美術クラブの講師を担当させていただくことになりました。

生涯学習課にもお世話になって27年間、縄文土器の復元の仕事をさせていただきながら、絵画制作をずっと続けてきました。

色々な出来事のある日常生活で、絵を通して、すばらしい方々との出会い、日々の潤い、癒し、なくさめなど、たくさん助けられてきました。

絵はそっくりに、上手に書く必要はないと思います。その人らしさが表現されていれば何よりです。人と比べることなく、好きなように、自由に描いて欲しいです。

そして皆様とご一緒に、絵を通してより豊かな時間を過ごせるお手伝いできれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(記・No.431 いたう ゆきこさん)



祝！令和4年度富士見市コミュニティ大学開校



(記 No.280 小金 住江さん)

健康ウォーキング講師の小金住江です。思い返すとコロナが始まった年、健康ウォーキングの講師として、皆さんと楽しいひと時を過ごすことを楽しみにしておりました。しかし、コロナ感染症の猛威に翻弄され、なかなか開校も叶わず…。コロナ禍、活動が一時中止となりました。皆さん心待ちにされながらも、感染の不安を完全に拭い去ることができず、心を痛めた方も多いと思います。

「健康生活」は、いつでも、どこでも、誰でも、何歳になっても始められます。「健康」を諦めず、また新たな気持ちで再開しませんか？楽しい事、楽しい時間を過ごしませんか？私たちは動物です。動くことで呼吸も血流も変わります。自分で健康寿命を延ばせるのです。ほんの少し、「再初の一步」を一緒に踏み出しませんか？みなさんの健康を切に願って止みません。

登録者交流会

3年ぶりの開催！

9月15日（木）3年ぶりに登録者交流会を開催することができました。

人類史上歴史に残るコロナという感染症蔓延防止のため2年間は開会することができませんでした。しかし生涯学習活動をする私たちにとっての2年間はとても大切な時間です。人生100年とはいえ、命には限りがあります。これ以上活動を止めることは私たちの生きてきた証しに空白をもたらしてしまいます。

幸い感染が落ち着いてきた時期でもあり、感染対策をしっかりとって登録者交流会を実施することができました。日中の開催にしたため、残念ながら市議会の開会中となり、市長・教育長・市議会議長においでいただくことはできませんでしたが、書面にてご挨拶をいただくことができました。

例年でしたら飲食をしながら楽しく意見交換できたのですが、今回は感染リスクを考慮して、お茶のみの提供と時間を短縮しての開催にいたしました。限られた時間の中、皆さまのご意見



を十分受け止めることが出来なかったことを、反省しております。

また練習時間もあまり取れない中、発表してくださったフラ・コナ様とハーモネイトはなみずき様の皆さまには感謝いたします。

来年度は富士見市市民人材バンク制度が施行されてから20周年を迎えます。来年度の登録者交流会は登録者の皆さまが、より一層交流を深められる場にしていきたいと思っております。

（記・市民人材バンク推進員の会 佐々木 眞理子）

登録者交流会の意見のまとめ

登録者交流会では、「コロナ禍での近況報告とこれからについて」というテーマで、意見交換を行いました。登録者の方々から挙げられたご意見について、一部ではございますが、いくつかご紹介をさせていただきます。

■コロナ禍で依頼がなくなり、活動できる場が減っていたが、現在は月に1回イベントを行っている。

■地域の集まりに足を運んでいるが、地域のイベントも、時代の変化等を考慮し、内容を再検討した方が良くと感じる場面があった。

■市民人材バンクを広く知ってもらったため、もっと上手く宣伝をしたらどうか。

また、意見交換の時間が短かったというお声もいただきました。来年度以降は、登録者の方々の交流の時間を十分に取るよう、検討していきたいと思っております。たくさんのご意見を、ありがとうございます。

いただいたご意見を参考に、推進員の会一同これからもより一層、市民人材バンク発展のために努めてまいります。

（記・市民人材バンク推進員の会 佐藤）

市民大学サロン塾

「市民大学サロン塾」を経験して



市民人材バンク推進員の会と市民大学の共同企画、市民サロン塾の「俳句入門」講座を担当させていただきました。鶴瀬公民館いきいき活動室に集まった20名程の参加者に、私の話を聞いてもらいました。大変、得がたい経験をさせていただきました。

二時間の長丁場は、あっという間に過ぎましたが、十分に「形式にこだわらない自由

な俳句」を紹介できたかが、気がかりです。先人たちの例句を紹介しながら、近世から現代までの俳人をお伝えいたしました。

俳句の根幹は、「本人自身と周りの宇宙観を大切にできるか」です。「これを言いたい！」ということや五感で感じたものを詠んでみるが一番です。講座の最後に参加者に作句をもらいました。作品を披露し、評点させていただきました。まずは、他者の作品を鑑賞し、「ご自身で俳句し、投句しましょう。いろいろなルールが俳句にはありますが、まずは体験です。

また、この講座の企画・運営をされました関係者に心からお礼を申し上げます。

記・No.301

世羅 陽一 郎さん

モデル事業

目指せ一眼レフ級★ スマホで綺麗な写真を撮ってみよう！

No.420 吉田理紗さん



わたしたちにとって身近で、カメラにもなるスマホを使った写真の撮り方のコツを教えてくださいました。

このチラシ作成にあたっては、お子さんのいきいきとした表情の写真や、広さや光を感じさせてくれる風景の写真を提供いただきました。

講座の後半は隣接しているつるせ西ゆうゆうの丘公園へ移動し、実際にアドバイスをいただきながら習いたてのコツを使って撮影し、ワクワクしながら写真確かめ、一歩前進の気分を味わいました。

スマホに慣れた人にもそうでない人にも丁寧に指導して下さった吉田さんには感謝しかありません。

(記・市民人材バンク推進員の会

中澤 佳珠代)

6月19日(日) 鶴瀬西交流センター集会室には定員いっぱいのお受講者の方々が集まっておられました。

実は広報富士見でお知らせし、申込み開始日に定員の半分が埋まってしまっただけの講座でした。

講師の吉田理紗さんは、現在子育て中のお母さんです。

展示コーナー

絵本の展示をしました

絵本の読み聞かせて登録している小栗知実 (No.351) さんに、絵本の紹介・展示をしていただきました。テーマごとに期間を分け、大人も子どもも楽しめる展示となりました。(8月3日から10月14日まで)



押し花教室

子どもらしい自由な発想の作品が出来上がりました !!



夏休みに水谷放課後児童クラブの3、4年生を対象に、押し花でランチョンマットを作成しました。お話をいただいたときは50名くらいとのことでしたので、受けた後に材料(押し花)を十分に準備することができるか、全員に目配りできるのか…不安になりましたが先生と話してみると「押し花とはこういったものか、体験させてあげたい」

とのこと、高度な作品を作るのではなく、児童が押し花に触れて楽しく自由に作品を作れることを目標にしました。

「押し花って花だけでなく葉っぱもあるの?」、「わ〜、きゅうりだ」、「このお花なに?」作業中はたくさんのおしゃべり、子どもらしい発想、例えば猫じゃらしのタネを模様にするなど、ステッカーやリボンなどをセンス良く組み合わせて個性あふれる作品が出来上がりました。

最後に、最初にお願ひした通り押し花を大切に扱ってくれたことに、感謝します。そしてこれからの長い道のりで押し花をまたやりたいなど思ってくれたら、うれしいです。



(記・No.165 高野 千鶴さん)

推進員のつぶやき

今後も、推進員としてさらなる努力を!

こんにちは。推進員の八子(やこ)です。早いもので「つぶやき」を担当するのも2回目?になるかと思えます。新人だった私も気が付けば、推進員の中でベテランの仲間入りをしていました。

この間、地域福祉部会の一員として高齢者施設等にPRに回ったり、ふるさと祭りやパレット祭り、ふじみ野文化祭にブースを出展したり、人材バンクフェスティバルの開催に参画したりと、様々な経験を積み重ねてきました。

そして活き活きと活躍される登録者の皆様に刺激を頂き、元気をもらってきました。本当に感謝しています。

こんな私のささやかな活動ですが、富士人材バンク制度の発展、そして生涯学習の推進に寄与しているのなら光栄な事です。

ここ数年は新型コロナウイルス感染拡大で活動が停滞気味ですが、今後も微力ながら時間の許す限り、推進員として頑張っていきたいと思えます。引き続き宜しくお願い致します。

(記・市民人材バンク推進員 八子 朋弘)